

公開しなければいけない臨床研究

臨床研究の情報公開について

当大学では、以下の研究を実施しております。この研究は、通常の業務で得られた過去のデータを用いて行います。このような研究は、国が定めた倫理指針に基づき、対象者のお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされております。

利用する情報からは、お名前、住所など、直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

この研究に関して、研究計画や関係する情報をお知りになりたい場合は、他の対象者の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

☒【個人を特定できる場合】

ご自身またはご家族等が、過去のデータを研究に使用してほしくないと思われる場合や研究不参加を申し出られた場合は以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。その際はこの研究で得たあなたの情報等は全て廃棄いたします。いずれの場合もなんら不利益を受けることはありません。

研究課題名	医療関係者の職業被ばくに影響を与える要因に関する研究
所属	長崎大学 原爆後障害医療研究所 アイソトープ診断治療学研究分野
研究責任者(職名)	工藤 崇 (教授)
共同研究機関	広島大学、福島県立医科大学、県立広島病院、 JA広島総合病院、広島市立広島市民病院、長崎医療センター
研究期間	許可日～2023年3月31日
研究目的と意義	医療関係者の被ばくは法令に基づき線量限度が定められ管理されているが、どのような医療行為・職種が高い職業被ばくに結びついているかについては、十分にわかっていません。2020年には水晶体の線量限度の引き下げが行われ、被ばく低減の対策が必要となりますが、そのためには現状の把握が必須です。本研究では、職種・診療科・年齢・性別などの基本情報と個人線量計で管理された被ばく線量を照らし合わせることで、現状における職業被ばくの傾向を調査し、被ばく量に影響を与える要因を抽出します。
研究内容	長崎大学病院および共同研究施設において、個人線量計で被ばく管理されている全職員を対象とします。
	●利用する情報 2016年度～2021年度における毎月の線量と、年齢・性別・職種（医師・技師・看護師等）・所属部署（放射線科・整形外科等）・主な放射線取扱業務（透視業務・血管造影等）。 すべての情報は、匿名化され、匿名化されたデータのみが研究に用いられます。 お知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

	<p>●研究方法</p> <p>上記の情報を用いて、被ばく線量が高くなる要因（どのような職種、どのような作業が高い被ばく量と関係しているか）を解析します。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：工藤 崇</p> <p>長崎大学原爆後障害医療研究所アイソトープ診断治療学研究分野</p> <p>住所：長崎市坂本1丁目7番1号</p> <p>電話：095（819）7101 FAX 095（819）7104</p>